

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



(注)カヘイ伝が、私がうどんのよう新宿でうえて
「おやを書くでおでこしめ

第一は時代の流れに対応し掲載雑誌
の人気作品となるよう論稿を工夫し、
エッセイライメイドの社説を翻すこと
となかった。白土三平の活動に対する抗争ために
反し、平塚治虫にとって白土三平
は最大のライバルだった。
平塚治虫を疾走させたエッセイ
は自分ほど人々を惹きつけて描いて
みせるところ自負ではなかつた。
さくらぐんが『アーヴィングの鳥』
手塚治虫の二人の巨匠を比べた
時、白土三平の創作態度は
あまりとも違う、その周辺の作品群
はあくまで白土三平の思索や、こゝ
わりを出发点としており経済的で
成功に対する意識は希薄だった。

あくまでも人が物を
知覚するという過程に
おいて、文字などの記号
は色や図像やマチエールと
ほど、最も重要なといふ
むしろ知覚とするという關係
において最も具体的なアーティ
だと思つわ。

「斜体」は読者の見る角度
を確定せず、まことに場面で
の出会いを許容する
「変形」ゆゑと筆点を保げさせ
たホケ文字、板下を折り曲げたり
否ませたりして字形や文字を却
て想像しもしかり、コロ一機やトラン
スなどの中で、矩形や三角形

オーバーのミルエントなどと
文字との衝突を写し取た形。
「字体」は文字の形の印象や
記号性を利用したので、
文字の意味が離れ、文字
そのものの形を採る。斜体
や変形、図像とも緩やかに
繋がる。「ここで目印に留ま
るのはやはり余白。」
構成は極端にシーリングまたは
極端な密度で組まれるが、
どういふシニティが特徴的であ
る。他のもの

生き抜いための教科書
としての「カライ体」
白土三平は「甲賀武芸帳」で
またたく間に人気作家となり
『忍着武芸帳』『影丸伝』を販本
マガジン『塔』ともいって
傑作に仕上げた。六〇年安保
闘争や全共闘運動が世を
騒がす世相のなか、
その物語の迫力と
権力や闘争を掲げ
て半端で文化入門
大学生を驚かせた
白土三平は東京帝大
リュックが開催され
水た昭和三十九年

「自己資金で劇場をカハイ伝」を描き始めている。

- (5) 構成字體 (4) 圖像变形 (3) 斜体 (2) 变形 (1)

本と、うのは、
どこか、ねがあそ
格があつてお立ち着いて
そこへおもてして、おもて
せしてくれれるようだ
ゆゑか、

1

△イ伝
から発掘できる
やまとがまほテーマ

文字と余白の ドラマ